

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	大阪大学	整理番号	F - 2
拠点のプログラム名称	疾患関連糖鎖・タンパク質の統合的機能解析		
中核となる専攻等名	医学系研究科未来医療開発専攻		
事業推進担当者	(リダー) 谷口 直之 外9名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>ポストゲノム研究で最も重要な分野の一つはタンパク質の機能解明があるが、タンパク質の50%以上には糖鎖が付加されており、タンパク質の機能高度化に重要な役割を果たしている。したがって、疾患の原因や病態を明らかにするためには、タンパク質や糖鎖が生体内でどのように働いているかを明らかにする必要がある。本拠点は、糖鎖・タンパク質の超微量解析技術を駆使して、神経疾患、感染症、がんなどの難治性疾患や糖尿病などの生活習慣病に直接関わりをもつタンパク質と糖鎖の機能を解明するとともに、これらの疾患に対する画期的なタンパク質治療薬、糖鎖治療薬の開発を目指す。また、疾患を単に個々のタンパク質や糖鎖の機能異常として捉えるにとどまらず、オルガネラ異常という視点からも捉え、この両者を統合して将来のシステムメディカルバイオロジーのための基盤作りを行う。同時に、糖鎖・タンパク質の統合的機能解析のための高度な知識と技術を兼ね備えた国際的な若手研究者を育成するためのプログラムを実施する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>我が国伝統の研究領域である糖鎖について、機能解析、疾患の原因、診断から創薬までの目標を掲げた計画である。強力な人材による基礎的分野の実績は高く、疾患との関連も具体化しつつあり、世界的水準を目指す研究教育拠点として評価できる。学生教育にも研究指向の学生を育成する配慮がなされている。新しい医療領域の創成が期待できる。</p>			